

2026年4月27日

SAM日本チャプター会員 各位

SAM日本チャプター  
東京支部長 蛭田克美

## 2026年5月度 東京支部例会について（ご案内）

拝啓 穀雨の候、会員各位におかれましては、お元気で過ごしのことと推察いたします。

さて、標記の例会についてつぎのとおりご案内いたします。

今回は、エネルギー地政学の専門家・澁谷 祐（しづたに ゆう）様に「**民族宗教、資源と海峡をめぐる覇権史の一例（イラン）**」についてご講演いただきます。

Zoomを兼用しますので、東京支部の皆様のほか、名古屋・大阪両支部の皆様も参加可能です。

ご多忙の折とは存じますが、会員各位のご参加をお待ちしております。

敬具

■日 時：2026年5月20日（水）13：30～15：00（若干の延長は可能です）

■会 場：東京駅サピアタワー9階 産業能率大学「セミナールーム」（3階受付経由でご入館ください）

■スピーカー：澁谷 祐（しづたに ゆう）ディレクター、エナジー・ジオポリティクス

【経 歴】慶応義塾大学商学部卒（国際経営）

石油連盟、外務省・在中東大使館の書記官・オイルアタッシュ、北極石油（株）調査役、ジェトロ・ロンドンセンター・資源部長、早稲田大学資源戦略研究所・主任研究員、同大学アジア太平洋研究センター・特別研究員、英ミドルイーストコンサルタントインターナショナル社（ロンドン）上級コンサルタントなど

【専門分野】エネルギー地政学

【著 書】「日中印の真価を問う」、「アジア経済発展のアキレス腱」（いずれも共著）

【テ ー マ】民族宗教、資源と海峡をめぐる覇権史の一例（イラン）

【要 点】○中東イラン情勢は悪化し、第3次石油危機の試練がやってきました。

「狼がやってきた」（70年代の米外交官）

○イランの核施設を米国とイスラエルが空爆し、ホルムズ海峡が封鎖されるという未体験ゾーンのなかでとまどう毎日です。トランプ氏が「パンドラの箱」を開けたのでしょうか。

○世界の石油資源は「ペルシャ湾周辺の三ヶ月地帯」に集中する半面、古今諸民族の覇権・地政学的衝突が特徴です。いま「資源の呪い」に見舞われたのでしょうか。

○中東など海外勤務のかたわら、エネルギー地政学に特化した月刊WEB誌「ジオポリ」を20年以上欠かさずリリースしてきた経験をもとにホットなトピックスを語ります。

■会 費：1,000円

■出欠の有無：2026年5月13日（水）までにSAM事務局までお知らせください。

■Zoom情報：招待リンク：<https://us06web.zoom.us/j/85445505639?pwd=RW29ldbent9GbyqcdX00aRHcaFCJzH.1>

ミーティング ID: 854 4550 5639 パスコード: 604965

以上

【事務局】〒158-8630 東京都世田谷区等々力6-39-15  
学校法人産業能率大学総務部総務課内 山崎裕貴  
電 話 番 号 03-3704-9046  
Eメールアドレス [sam@hj.sanno.ac.jp](mailto:sam@hj.sanno.ac.jp)